

# 市政ひろば



## 沼島ヘリポート完成

東南海・南海地震で高さ4.9mの津波が襲うと予測されている沼島に、緊急時の救急搬送や物資支援をするためのヘリポートが完成しました。

総事業費は、約1億5百万円。緊急の際、消防防災ヘリコプターがポートアイランドにある神戸ヘリポートから沼島へ向かい、けが人を淡路ふれあい公園まで搬送。ここから、救急車で県立淡路病院へ運ばれる計画です。

このヘリポートは、かねてから沼島地区が要望していたもので、用地の確保については、沼島総合開発



は、かねてから沼島地区が要望していたもので、用地の確保については、沼島総合開発

## 路線再編「らん・らんバス」の出発式

5月から路線を再編した市コミュニティバス「らん・らんバス」の出発式を4月28日、陸の港西淡で開催しました。式では、中田市長をはじめ、来賓の方々がテープカット。西淡志知幼稚園の園児といっしょに風船を飛ばして出発を祝いました。

このたびの再編では、路線を5ルートに延長し、運行時刻の変更と運賃改正を行いました。また、1日に何度でも乗降できるフリーパス券も新たに発行しました。なお、時刻表は市役所窓口や市ホームページから閲覧できます。



▲幼稚園児とともに出発を祝いました

## 緊急時の救急搬送が可能に

会（木村一会長）のご尽力により土地所有者のご理解を得て、完成に至りました。

4月26日の竣工式では、ヘリポート建設のために無償で土地を提供して頂いた方に、感謝状が贈られました。中田市長は、「使うことのないことを願うが、緊急時に利用できれば」と話していました。

土地提供者（14名、敬称略）  
青木義夫、井上州子、梶原亀代、古水省三、坂田十三男、佐野春美、田浦秀信、中野すみ子、中元金太郎、中元博、西村全弘、吉田静子、吉野たきの、両頭一郎

## 全国へ観光資源をアピール

### 県大型観光交流キャンペーン

来月4月～6月に「あいたい兵庫デステイネーションキャンペーン」として、兵庫県が一丸となって、全国から観光客を誘致する大型観光交流キャンペーンが実施されます。

それに先立ち、5月12日、旅行会社にはツアー計画を、出版会社には特集記事を企画してもらうため、企業の担当者を紹介して兵庫県の観光資源を紹介する「全国宣伝販売促進会議」が神戸市内で開催さ



▲旅行会社と出版会社の担当者へ淡路人形浄瑠璃の魅力を紹介する淡路人形座職員

## 交通安全点検を行う

南あわじ市では、昨年度285件の人身事故が起り、10名の方が亡くなりました。これを受けて、市は安心して利用できる道路づくりを行うため、4月25日、倭文小学校付近の通学路を中心に約700mの区間を点検しました。

この活動には、地元の自治会・老人クラブ・PTAの方々や、警察署員ら約20人が参加。歩行者の目線に立って、歩道やカーブミラー、街灯などの

点検を行いました。中には老朽化で早期の修繕が必要なものもあり、参加者らは、用意していたチェックシートにまとめていきました。

点検後、意見交換会を行い、「ガードレールを直す必要がある」「通学路に深い水路があつて危ない」などの課題が出されました。

この結果を踏まえ、南あわじ市では今後、兵庫県や警察署とともに、課題解決に向けて取り組みます。



▲通学路沿いのガードレールを点検する参加者

### 倭文地区で実施

## 絢爛豪華なだんじりが24台集まる

### 市民まつり「淡路だんじり祭」が開催



▲広いグラウンドを所狭しと数台のだんじりが練りました

南あわじ市市民まつり「第3回淡路だんじり祭」が、4月29日、三原健康広場で行われ、延べ1万人が訪れました。

市内各集落の若者らに担がれた絢爛豪華なだんじり24台が、緑鮮やかな玉葱畑の道を通り、会場へ集結。

オープニングに、かわいい保育所・幼稚園児が力いっぱい太鼓を演奏。その後、4台のだんじりが1組となり、荒々しく曳き回す「練り」の

競演。獅子舞や、投げだんじりの披露なども行われ、来場者の目を惹きつけました。

そんな勇壮な若者たちが一転、郷土芸能「だんじり唄」発表では、浄瑠璃の「忠臣蔵」や「絵本太功記」などの外題を、感情を込めて唄い上げ、観客から拍手喝采を浴びました。（21頁に関連記事）



▲会場を沸かせた獅子舞

だんじり唄を熱唱する祭礼団▶

## ふれあい市長室 業種・分野別行政懇談会を開催

南あわじ市長 中田勝久

今まで私は「会う、聞く、見る」をテーマに、数多くの地域会合への出席や自治会・各種団体からの要望・陳情等をお伺いし、できるだけ現場に向き肌で感じる努力を行い、情報を収集してまいりました。

当初に行った100人委員会では色々なご意見をいただく中で、特に少子対策に関する提言を参考に、少子対策大臣に評価いただきような施策に取り組みことができました。

ほんとうに感謝しております。19年度では、出前行政として四役、全部長で市内21地区を訪問させていただき、時には厳しいご意見も頂戴いたしました。南あわじ市内でも地区により課題や要望内容について大きな違いがあります。

特に、市としても最重要課題の一つである低地帯の防災対策については、永年のご労苦を鑑み、担当次長を置き、国・県の支援を頂き具体的な対策に着手しようとしております。

また、先日国土交通省の

「みなと振興交付金」事業による「福良港防災拠点化による地域振興計画」の認定書をいただいております。

今年、業種・分野別行政懇談会を開催し、テーマをある程度絞った形でご意見をお伺いしました。農業、漁業、商工業、観光業などの産業分野では、後継者不足、特産品の価格低迷、資源の枯渇など根本的な問題が山積しております。

しかし、全国の優良事例で見られるように、他方では消費者の支持を得る工夫や自らの並々ならぬ努力によって生き残りかけた戦いが繰り返されております。

今後は、各分野個々の努力と併せ、農・漁・商・工・観光・文化などの連携による相乗効果を見だし、より一層地域そのものを売り出すよう努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のお知恵を結集いただきますようお願いいたします。